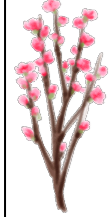


# コイノニア



3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この3年間の出来事を思い浮かべて少しさみしい思いを抱えながらも、新しい生活に心を躍らせ一歩踏み出した卒業生のみなさん。これからの歩みも、神さまの豊かな祝福がありますようにお祈りしています。3月の聖句は、ヨハネによる福音書15章17節です。

## 「互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」

今年度は新型コロナウイルスに振り回された1年でした。新学期早々、1年生のみなさんにとっては入学式を終えてこれから新しい高校生活が始まる・・・というところで、休校になってしまいました。しばらくして学校が始まっても、常にマスクを着用して、何をするにも手指消毒をして、夏も冬も教室の窓は開けっぱなしで、お弁当も皆同じ方を向いてしゃべらずに食べなければならなくて・・・。こんな不便で不自由な“非日常”が、今ではすっかり“日常”になってしまいました。でも、新型コロナウイルスは私たちの日常を良くないもの・つまらないものにしただけではなく、私たちにとって“良いもの”“ステキなこと”“プラスになること”をもたらしました。それが「互いに愛し合うこと」です。

シトラスリボンプロジェクトに参加することで、コロナウイルスによる差別や偏見をしない生き方を学ぶと共に、医療従事者の方々へ励ましの応援メッセージを送りました。“知らない誰か”のためにも、心を動かすことができるステキな経験をしました。優しい言葉、勇気が出る言葉、うれくなる言葉、孤独を忘れられる言葉など、みなさんが書いた言葉は、「互いに愛し合いなさい。」という聖句を実践するものでした。

聖書に出てくる「愛」という言葉はギリシア語で *ἀγάπη* (アガペー) という単語です。日本のキリスト教会の中では「神の愛」と訳されることが多いですが、「神さまが私たちを愛してくれているように、私たちも誰かのことを大切に(愛する)。」という隣人愛の精神が詰まっている言葉です。3年生のみなさん、卒業しても「他者を愛する」ことを忘れないでください。そして1～2年生のみなさん、学校生活の中で「他者を愛する」生き方を忘れないようにしましょう。「互いに愛し合いなさい。」という聖句をこれからもみんな実践していきましょうね！

## 聖書・キリスト教の“はじめの一步” #12 「受難節:Lent(レント)」

「受難節」とはイエスの復活日(イースター)前の46日間を表す言葉です。「灰の水曜日」から始まりイースターの前日である土曜日までの期間で、イエスが受けた苦しみ(十字架の出来事)をおぼえて過ごす、キリスト教徒にとっては大切な期間です。

受難節の最後の一週間は「受難週」といい、イエスが十字架につけられ墓に葬られるまでの一週間を表します。エルサレムに入城した「しゅろの日曜日」、弟子たちと「最後の晩餐」をした木曜日、十字架につけられて死を遂げた金曜日(受難日)と続きます。金曜日の夕方に墓に埋葬されましたが、日曜日の朝に復活し、「イースター」を迎えます。

## 3月の予定

月間聖句 「互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。」  
(ヨハネによる福音書15:17)

月間テーマ 「他者と共に生きる喜び」

11日(木) 3.11祈念礼拝

2011年3月11日に起きた東日本大震災を覚え、祈りを合わせます。「わたしたちは忘れない」という思いを大切にしたいと願っています。今年は、修学旅行で福島を訪れた3年生が発表をしてくれます。

## JONAN's History #12

## 労研饅頭と城南<2>



←『目で見ると110年の軌跡』より(当時は「一包四ヶ入金五銭」でした。)  
夜学校の数学教師だった竹内成一先生と松山教会の青年だった村瀬宝一さん、そして生徒9人でスタートした松山夜学校奨学会「饅頭団」。貧しい生徒も働きながら学ぶことができたのです。

あんフライと  
労研饅頭スティック

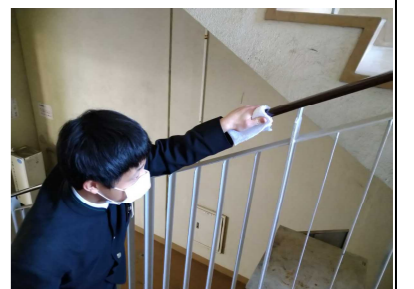
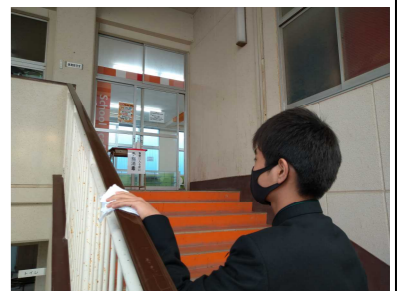
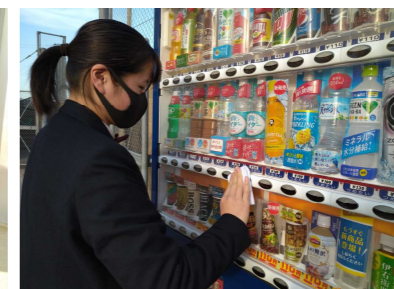
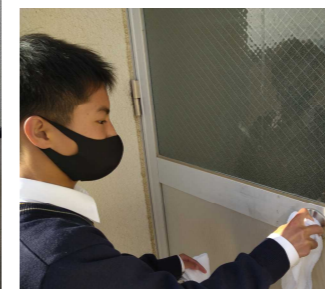


1937年以降、労研饅頭は竹内氏が個人的に引き継ぎ、今日も製造されています。現在はココアやバターをはじめ、いろいろな味のものが販売されています。

(労研饅頭たけうち [home.e-catv.ne.jp/takeuchi/](http://home.e-catv.ne.jp/takeuchi/))

## ☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆

新型コロナウイルス感染予防のため、毎日放課後に校内の共用スペースを消毒してくれている1年調理科の生徒たちです。トイレのドアや階段の手すり、自動販売機のボタンなど、みんなの手が触れる場所を丁寧に消毒してくれています。みんなが安全に、そして安



心して学校生活を送り、「共に  
喜ぶ」毎日を送ることができますように……。